米之宮浅間神社 社報

発行　米之宮浅間神社
〒四一六-〇九〇六
静岡県富士市本市場五八二
☎〇五四五(六一)〇八一七
発行日　令和二年一月一日

正月を迎えて

令和二年庚子(かのえね)年の年頭にあたり、謹んで皇室の弥栄と氏子崇敬者の皆様の御平安をお祈り申上げます。

「正月奉納行事」
当神社境内にて以下の通り開催されます

1月2日(木)
九時十五分～尺八、詩吟朗詠(竹友会・岳心流吟友会)
九時四五分～古武道演武(総合福祉武道学会・神刀正統傳承渡辺流)
十一時　～木遣り、梯子乗り(富士若鳶会、気組、富士木遣り愛好会、青柳会)

1月3日(金)
十時　～巻藁射礼(富士市弓道協会会員)
十一時～甲子囃子(富士本町甲子囃子保存会)
正午　～馬弓神事(紅葉台木曽馬牧場)

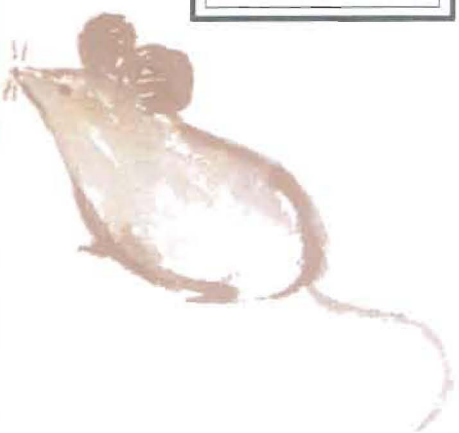
節分祭・豆まき式　二月三日(月)
一回目　十二時三十分頃～
二回目　十四時三十分頃～
三回目　十六時三十分頃～
※　厄除・招福祈願神事の受付中、詳細は社務所まで

子年について

「子」といえば干支の順番を決める際に、牛の背中に乗って移動し、最後に飛び降りて一番になったネズミの逸話が有名ですが、「子」という漢字にはもともと命の芽生えや増加という意味があります。またネズミは、日本を平定された大国主神を助けた神使で、子孫繁栄・五穀豊穣をもたらすと言われています。

令和二年は「庚子(かのえね)」の年。木火土金水の五行の金である庚と水の性質を持つ子は互いが相乗効果で良い相性を生む「相生」の関係です。

子年は四年に一回の閏年でもあり、オリンピックが行われる年。今年はいよいよ五十六年ぶりに東京オリンピック・パラリンピックが行われます。



正月を迎える準備

新年を迎えるにあたって、一年の幸せと実りをもたらして下さる歳神さまをお迎えするために、まず家の内外を掃除する「煤払い」を行い、門松や注連飾り等の正月飾りを準備して、清々しい気持ちで新年を迎えましょう。

忌中(きちゅう)の場合

家庭にご不幸があった場合、一般的には五十日を忌中として故人を偲び、おまつりを遠慮しますが、忌が明ければ通常の生活に戻ります。忌の期間が正月をまたぐ場合は、忌が明けてからお神札を受けましょう。

大祓について

大祓とは記紀神話に描かれる伊弉諾尊(いざなぎのみこと)の禊祓を起源とし、知らない間に犯した罪や過ち心身の穢れ、災いを祓い清め、清らかで正常な姿を取り戻すためのお祭りです。多くの神社では年に二度、六月の夏越の祓と十二月の年越の祓が行われます。大祓詞を唱え、紙を人の形に切った人形(ひとがた)等を用いて身についた穢れを祓い、無病息災を祈るため、茅や藁を束ねた茅の輪を神前に立てて、これをくぐります。

厄年について

厄年の年齢は、人の一生の中でも、体力的、家庭環境的、或は対社会的にそれぞれ転機を迎え、災厄が起こりやすい時期と考えられています。厄年の年齢になったら、厄祓いや厄除けのご祈願を受けましょう。

令和2年 厄年表

男性		
前厄	本厄	後厄
24歳(平成9年生)	25歳(平成8年生)	26歳(平成7年生)
41歳(昭和55年生)	42歳(昭和54年生)	43歳(昭和53年生)
60歳(昭和36年生)	61歳(昭和35年生)	62歳(昭和34年生)

女性		
前厄	本厄	後厄
18歳(平成15年生)	19歳(平成14年生)	20歳(平成13年生)
32歳(昭和64年/平成元年生)	33歳(昭和63年生)	34歳(昭和62年生)
36歳(昭和60年生)	37歳(昭和59年生)	38歳(昭和58年生)

※数え年は、誕生日前の場合は2歳、誕生日を迎えている場合は、1歳を足して計算します。

神棚のおまつり

ご家庭の神棚に、お伊勢さまと氏神神社、崇敬神社のお神札をおまつりし、日々の暮らしの中で感謝と祈りを捧げるとともに、お子さんの誕生などご家庭で大きな出来事があった際には、報告し、新たに迎える生活の平穏を祈りましょう。

※神棚のまつり方について詳しくは左記のQRから神社本庁HPへ

神社では、家内安全・商売繁盛・初宮参り・七五三詣・学業成就・合格祈願・交通安全・縁結祈願・安産祈願・病気平癒・地鎮祭・竣工祭・自動車清祓など様々なご祈願を受付けています。
いつもより神さまに近い場所で、願意を届けてみてはいかがでしょうか。
ご祈願についてのお問合せは神社まで

連絡☎ 米之宮浅間神社
〇五四五(六一)〇八一七